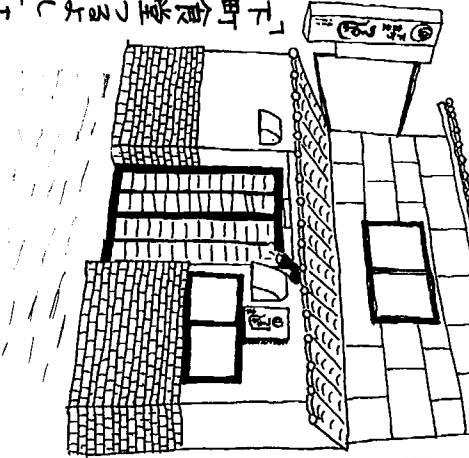


西鶴賀便り

発行所 長野市中心市街地活性化協議会
〒267-1583 長野県建設士会 ながの支部
〒267-1583 西鶴賀町

観迎「下町食堂」のよし 5月中旬にオープン!

「下町食堂」のよしさんが東鶴賀に引っ越しが、せいかくなので賀から軒長屋に移転し5月、自己紹介のお話を伺って中旬にオープンすることになりました。武睦会、という店主の山崎さんはずでに西鶴賀、第3地区の祭好き(祭を)ではおなじみの存在で、盛り上げたいが集まる会



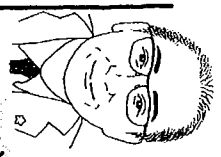
「下町食堂」のよしさんが35歳の時にその人が引退して、そこで若連の子たちと会ったり、地区の野球大会して、店舗を引き継ぐ形で始めたから、生まれ毛東鶴賀の店を出ることになって、移転先を探る中で、無尽や武睦会と一緒に箱山君(西之門町)山さんと(が久米さんを紹介)ね、23歳の時に親父が7



野球は観るよりやる派
守備はアスト担当
山崎欣男さん

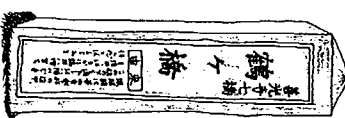
山崎欣男さん

「下町食堂」のよしさんが35歳の時にその人が引退して、そこで若連の子たちと会ったり、地区の野球大会して、店舗を引き継ぐ形で始めたから、生まれ毛東鶴賀の店を出ることになって、移転先を探る中で、無尽や武睦会と一緒に箱山君(西之門町)山さんと(が久米さんを紹介)ね、23歳の時に親父が7



「源頼朝の逸話」が元となった 「橋」の由来

中央通りにある石碑には、まちの歴史が記されています。それは、善光寺を修繕・参拝した「源頼朝の逸話」が元となつています。今のトーンゴ北側りを流れる川で身を清め、その橋の上で「橋」の由来がハハハ宮を拜んだ事か? 西鶴賀の由来となる「橋」の由来は、善光寺修繕の由來となる善光寺修繕時に御本尊を移した往生院(飯のお堂を種堂と呼んだ事)の言葉など。この田町を歩くと、吾妻鏡(鎌倉時代にできた日本の歴史書)に記されている(鎌倉時代の逸話)に出会えます。



西鶴賀田町(江戸時代まで、柳原庄西鶴賀里の「榎堂田人」)と呼ばれていました。金鑄土堰(おな(1)せき)より引かれた水路(今もこの田町を流れる西鶴賀土堰)により、水田や香先の青麦や菜種・桑畑として利用されてきました。黒(土)の肥沃な耕土のため「中色黒・下色黒」と呼ばれ、今も高築地と共に田町の地味に使用されています。そして明治11年、人家も稀なこの土地に人が定住するまで、かけがえありません。

「鳥と」をやっていたので、店この店でも本当はいろいろ食べなくて縁です。を手伝いながら料理の道に入、やり過ぎると自爆してしまうので、思って(苦笑)今、別の所で

「下町食堂」のよしさんが35歳の時にその人が引退して、そこで若連の子たちと会ったり、地区の野球大会して、店舗を引き継ぐ形で始めたから、生まれ毛東鶴賀の店を出ることになって、移転先を探る中で、無尽や武睦会と一緒に箱山君(西之門町)山さんと(が久米さんを紹介)ね、23歳の時に親父が7

「下町食堂」のよしさんが35歳の時にその人が引退して、そこで若連の子たちと会ったり、地区の野球大会して、店舗を引き継ぐ形で始めたから、生まれ毛東鶴賀の店を出ることになって、移転先を探る中で、無尽や武睦会と一緒に箱山君(西之門町)山さんと(が久米さんを紹介)ね、23歳の時に親父が7

「下町食堂」のよしさんが35歳の時にその人が引退して、そこで若連の子たちと会ったり、地区の野球大会して、店舗を引き継ぐ形で始めたから、生まれ毛東鶴賀の店を出ることになって、移転先を探る中で、無尽や武睦会と一緒に箱山君(西之門町)山さんと(が久米さんを紹介)ね、23歳の時に親父が7



5月13日(金) 15:00~16:00
シニアレストランで手軽に「アスパラ」を堪能しよう! 講師: 天聖子明子さん(旅する775ごはん)/ 参加費: 2,500円

5月14日(土) 11:00~12:30, 15:00~16:30
又アホ写真をもっと来南文(1)アホに教わる撮影のコツ

【1】魅力発見。西鶴賀1トログアホ・おもしろ
【2】「アホ写真」で楽しむ撮影のコツ
講師: 木野井史博さん(善光寺)
参加費: 1,500円 + 【2】は飲食代実費

5月15日(日) 14:00~15:30
シニアセンター(バーン療法) 飲食・植物観察・お花のチカラで生命力をアップ! 講師: 飯坂森智子さん/ 参加費: 1,000円

③の【1】ではお店の外観を撮影していただき、お花のチカラで生命力をアップ! 申し込み・問合せ ナトリウム(平日のみ214-1433) 担当: 新野さん

長野市中心市街地活性化協議会

〒267-1583 info@machidukuri-nagano.jp
「西鶴賀」のよしさんが35歳の時にその人が引退して、そこで若連の子たちと会ったり、地区の野球大会して、店舗を引き継ぐ形で始めたから、生まれ毛東鶴賀の店を出ることになって、移転先を探る中で、無尽や武睦会と一緒に箱山君(西之門町)山さんと(が久米さんを紹介)ね、23歳の時に親父が7